

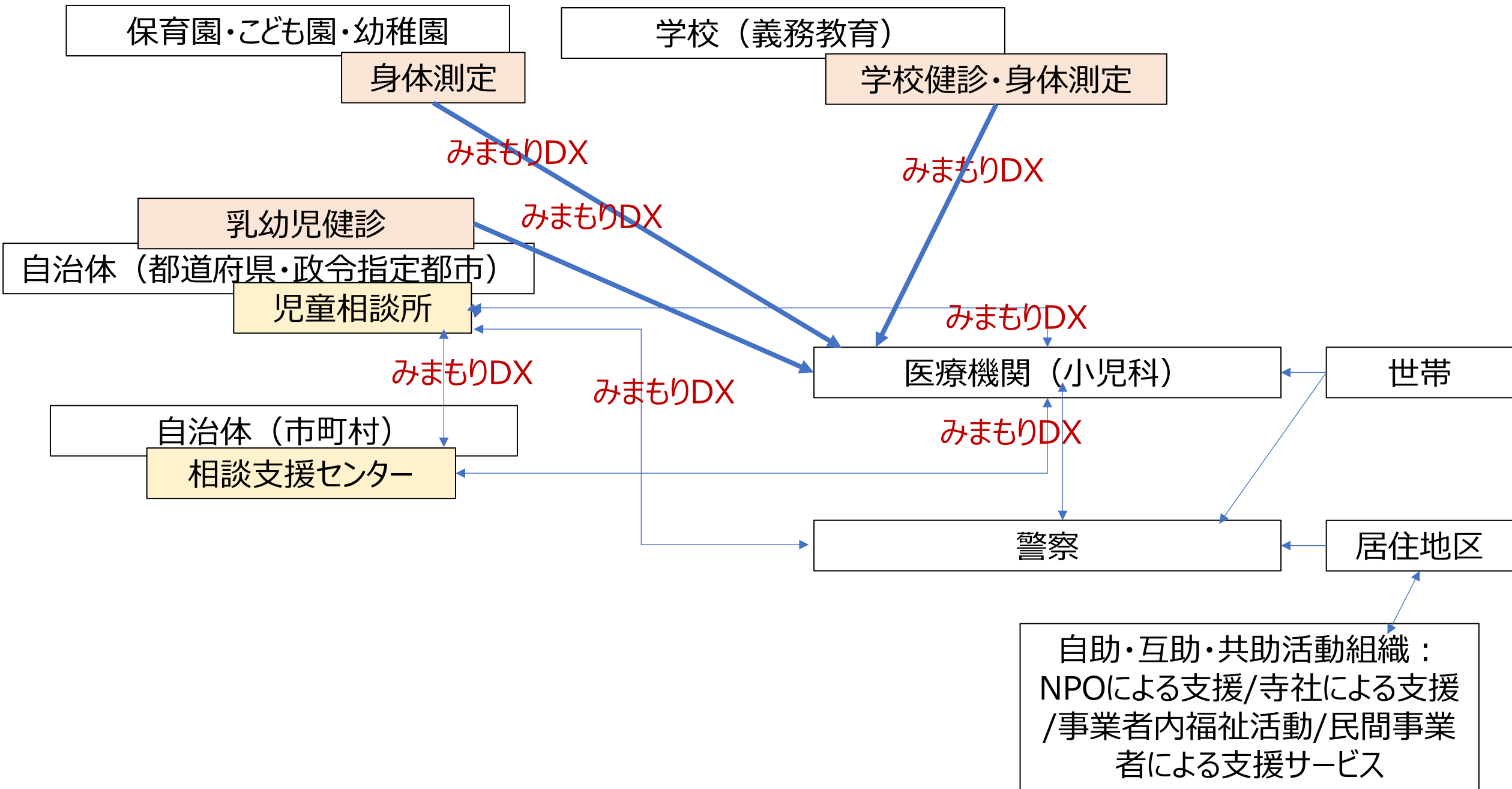
## 【地域】

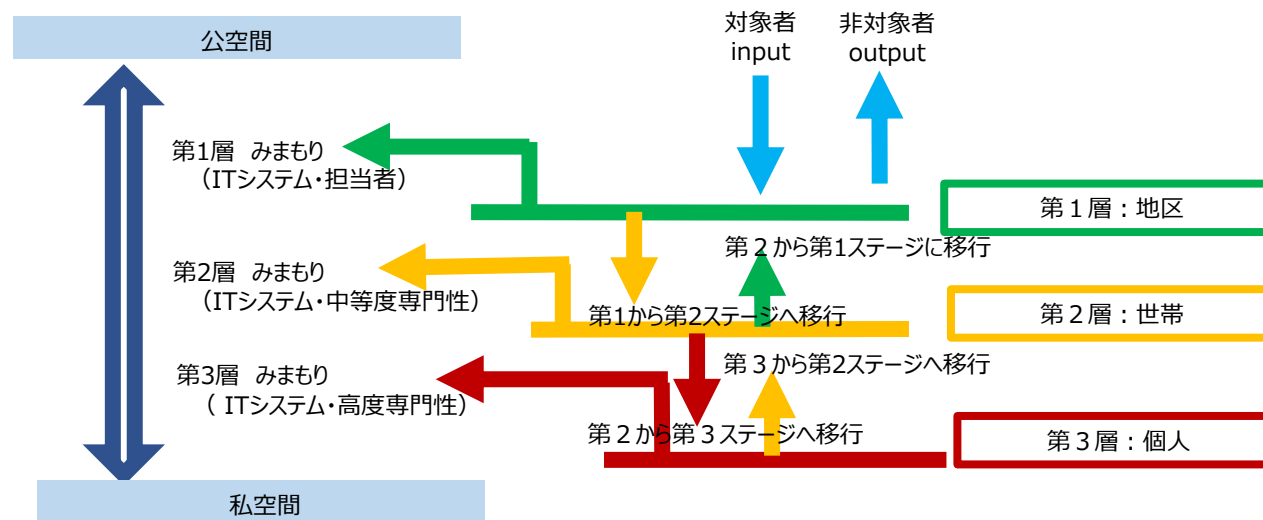
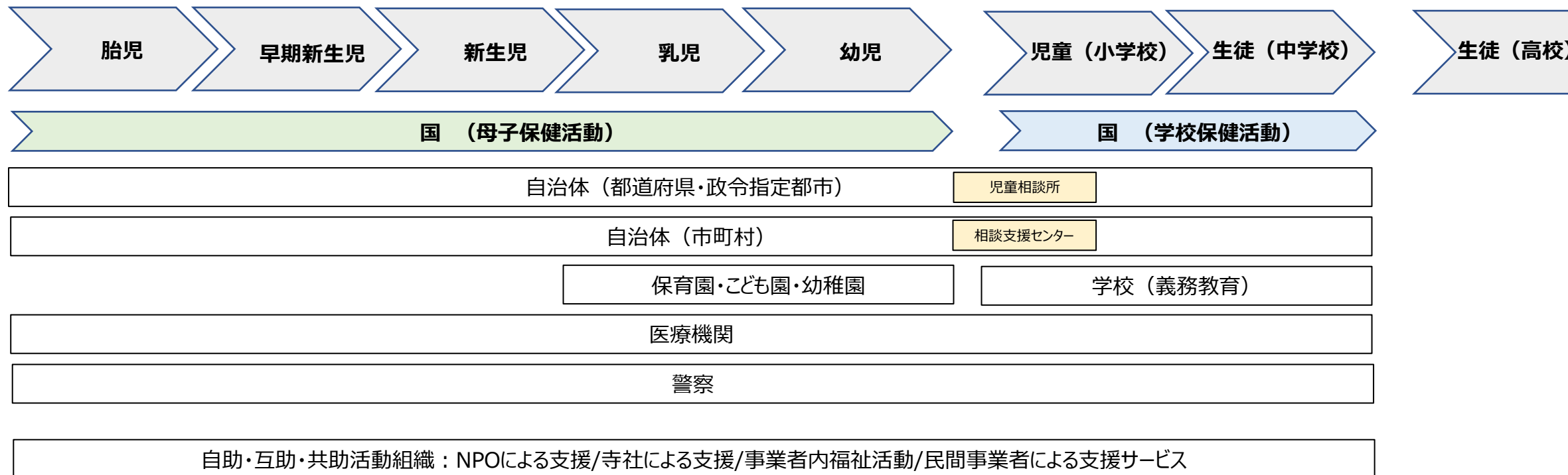
研究中のテーマ紹介

**学校健診データによる児童の成長みまもり支援**  
**児童虐待防止活動プロセスモデル**  
大学・職場のメンタルヘルスなど

水流 聡子（つる さとこ）

特任教授・共同代表  
工学系研究科 人工物工学研究センター（兼務）



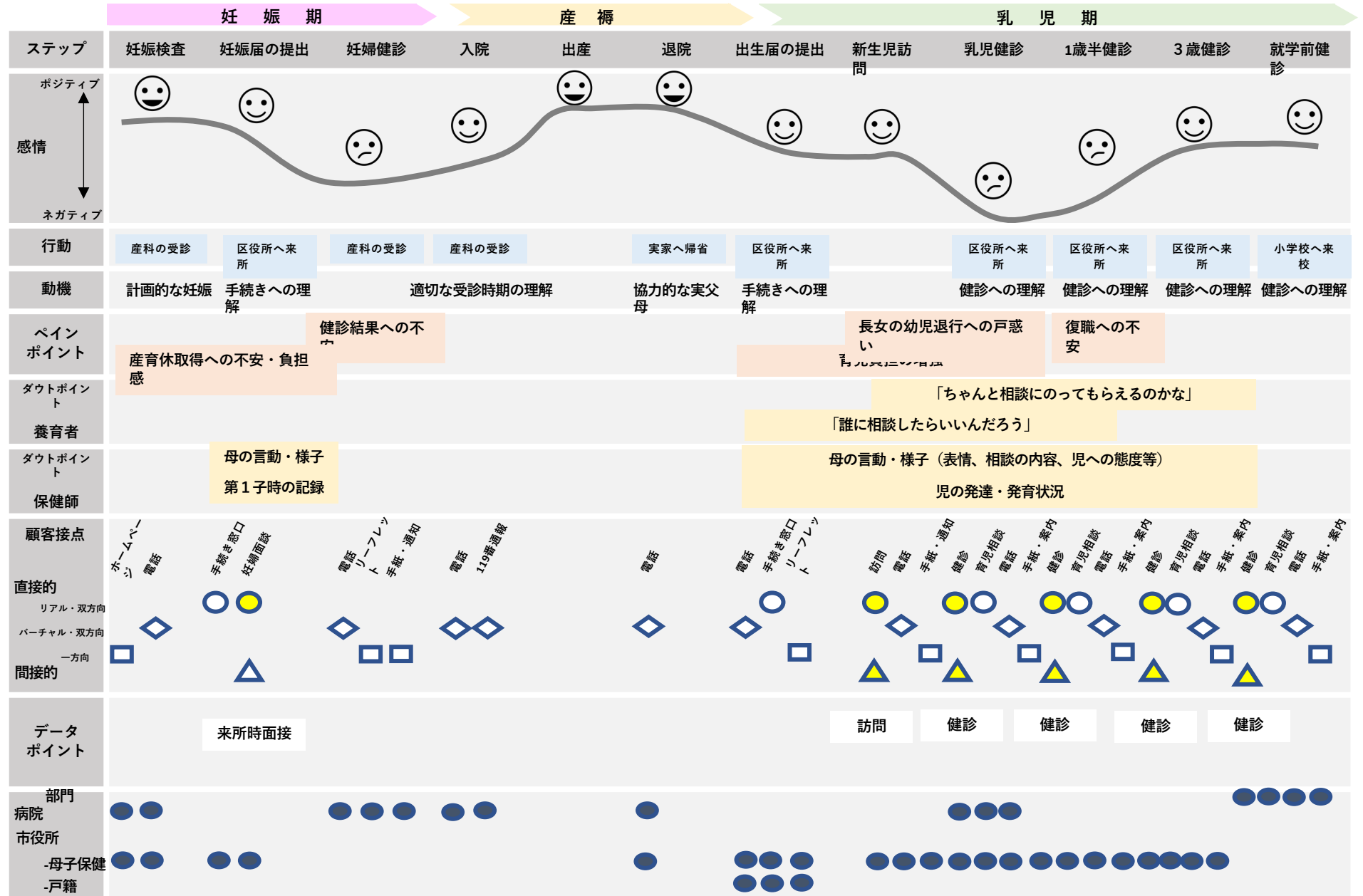


# 事例① 母子ともに健常ケース

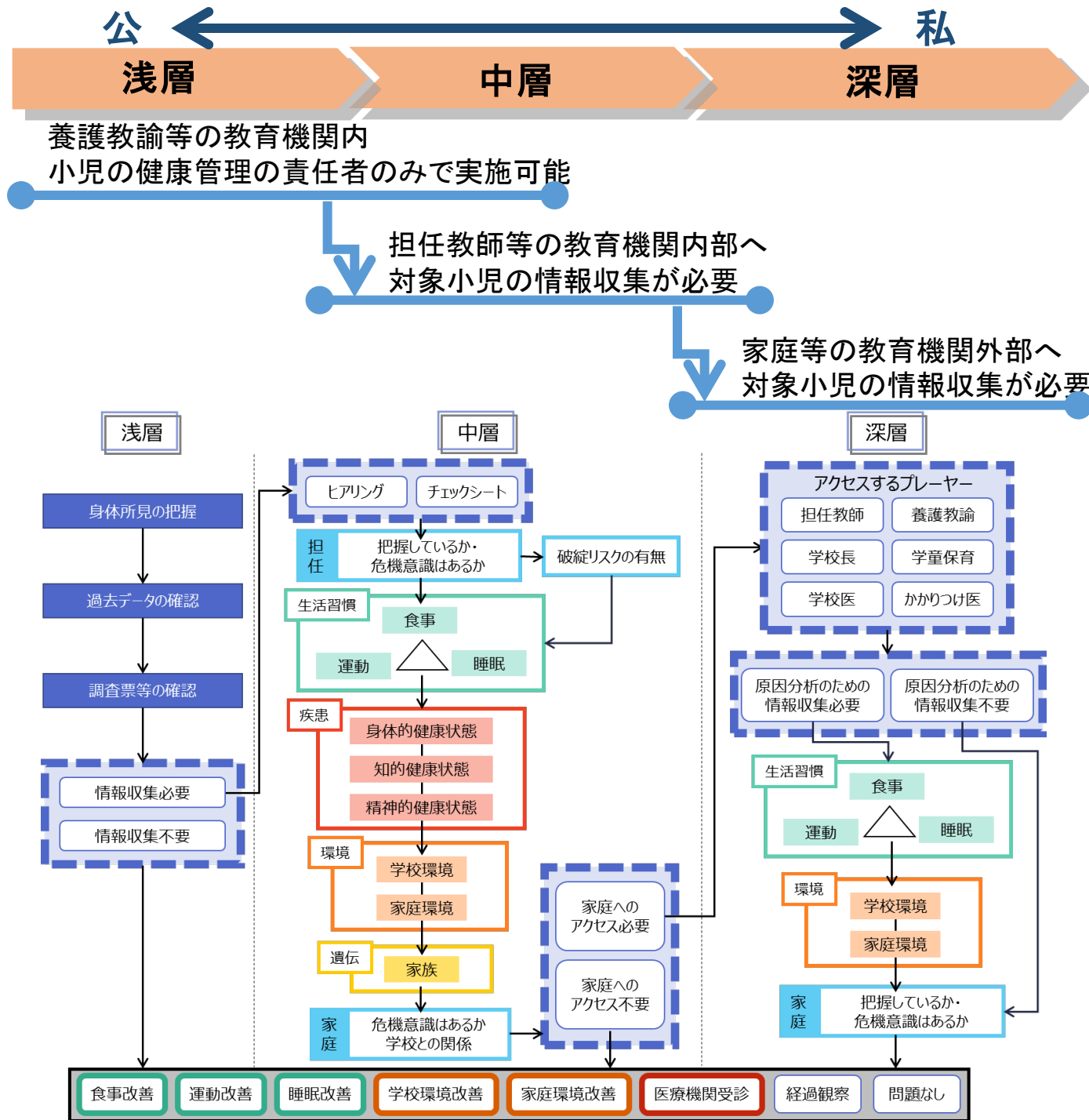


S子さん (36歳) 夫、3歳の娘Dちゃん、Hくんと4人暮らし。夫は以前から家事に協力的であり、遠方に住む自身の両親も何かあると手伝いに来てくれる。  
Sさんは広告会社に勤務しており、復職を希望している。3歳の長女は、Hくんが自宅で生活を始めて以来、幼児退行が目立ってきた。

Hくん (0歳) 正常産・正常分娩であり、発育・発達も順調である。



中 小学校児童の身体測定結果から、問題発見・原因特定・介入へと展開する手法・システム開発研究に、3ステージロジックを適用



小学校からの要サポート児童の発見と、地域からの要サポート児童の発見(島菌班公G)の2方向から、拾いあげる方式を検討

# 手法を組み込んだツール

**Step1. スクリーニングで抽出された小児の判定画面を表示**

身長(cm) 身長・体重曲線 (0-18歳) 体重(kg) 成長速度(cm/年) 成長速度曲線

標準曲線  
推定曲線 (高学年のみ)

成長障害		2	肥満傾向	3	痩身傾向	0
体型評価値		12	総合判定	受診を勧める		

リスク項目	計測項目	計測値	リスクレベル
成長障害	身長	最新身長SD値	1.21 0
	成長率低下	成長速度SD値平均(最新1年)	-5.06 2
	伸び率不良	最大身長SD値と最新の差	1.1 2
肥満傾向	過度な肥満	最新肥満度	58.3% 3
	進行性肥満	最小肥満度と最新の差	29.3% 1
痩身傾向	肥満進行速度	最小肥満度と最新の差/期間	9.8% 0
	過度な痩身	最新肥満度	58.3% 0
	進行性痩身	最大肥満度と最新の差	0.0% 0
痩身進行速度	最大肥満度と最新の差/期間		
体重増加不良	最新の体重の増加	4.2 kg	0

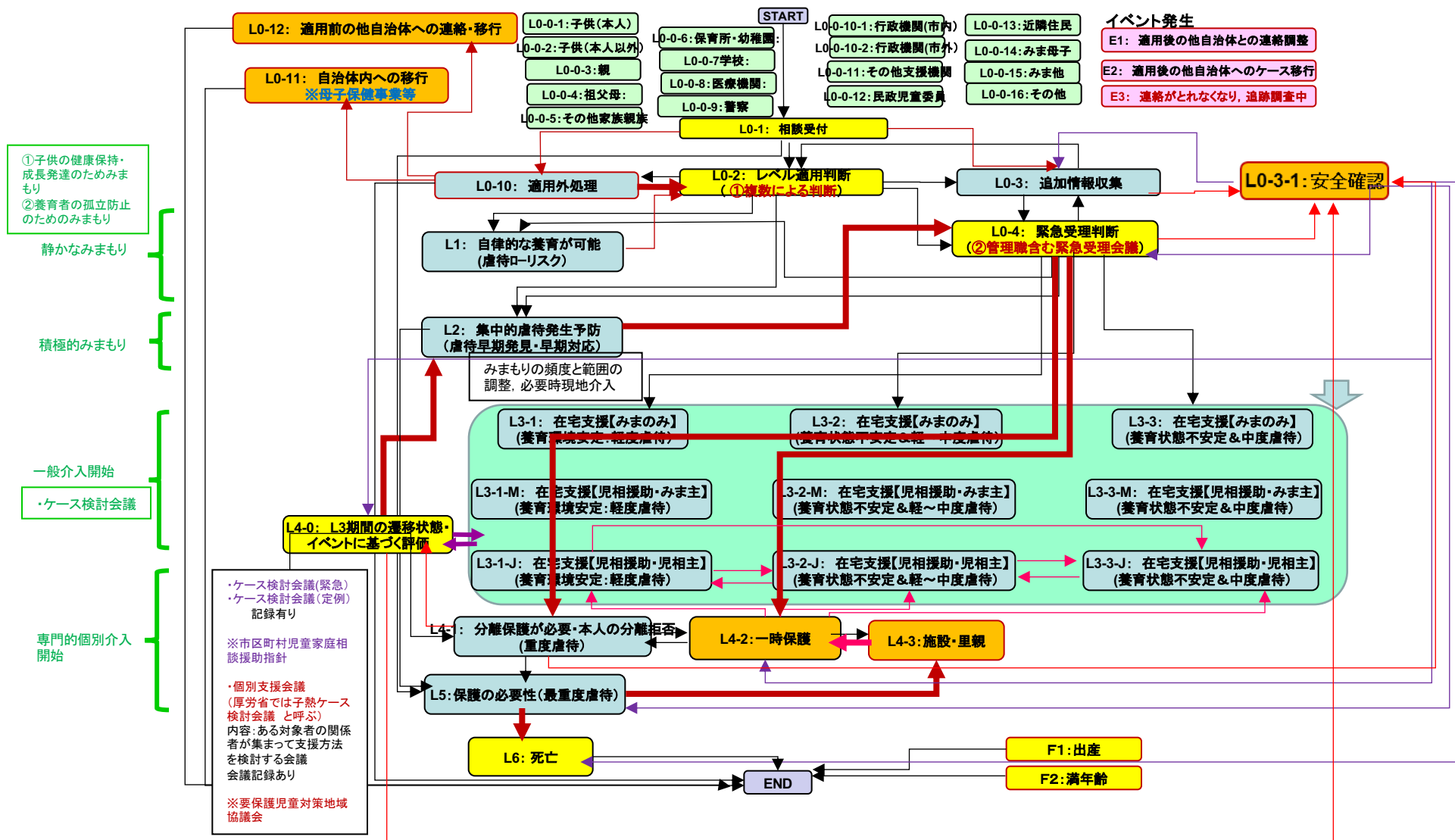
**Step2. 個別判定支援手法による判定結果を表示**

<b>成長障害</b>		<b>疑いあり</b>
<b>伸びの</b>	<b>思春期早発症</b>	○
	<b>直近</b>	○
	要受診の低身長	
	成長の個人差	

<b>肥満</b>		<b>疑いあり</b>
要受診の高度肥満	○	
連続する肥満傾向	○	
痩身からの回復傾向		
標準付近での増加		
<b>痩身</b>		
要受診の高度やせ		
受診勧奨の痩身傾向		
肥満からの回復傾向		
標準付近での減少		

**Step3. 医師が判定結果を入力、手法のみで自動判定も可能**

3年生	4年生	5年生	6年生
2学期			
4/10	2014/9/1		
ヶ月	8歳8ヶ月		
9 cm	141.8 cm		
kg	45.4 kg		
0	2.3		
11 cm	11.0 cm	9.3 cm	8.4 cm
4.8	7.1	4.9	3.8
		1.0	0.0
		-1.9	-4.0
		-6.2	-5.0



※L0-1をのぞくほぼあらゆるユニットから「死亡・生命の危険」「死亡」「END」にいくルートを移行ロジックでは設定